

立山駅横真川

富山地方鉄道立山駅は、称名川と真川の合流地点（合流して「常願寺川」となる）に位置しています。この地点は県内の小学校から大変遠く、通常ですと「流れる水のはたらき」の学習には使いにくいと考えそうですが、国立立山青少年自然の家での宿泊学習の際に川の学習を組み込むなら、上流の特徴を示す川の観察には大変適しています。その長所としては、(1)アクセスしやすく、トイレや駐車場の心配をしなくてもよい(2)立山カルデラ砂防博物館が近くにあり、河川の学習に活用できる の2つがあげられます。流れとしては、立山カルデラ砂防博物館で学習してから、真川へ降りて観察するとよいでしょう。なお、河床で見られる岩石は安山岩が多く、黒っぽい石が目立ちます。その中にまじっている白っぽい石は、花こう岩と流紋岩が多いようです。

観察対象	河川上流部
観察できる人数制限	特になし
流速の実験の安全性	できる場所はあるが、川が広く、石が大きいためややりにくい。
バス駐車スペース	あり
トイレ	富山地鉄立山駅にある。



右岸側から上流方向のながめ



岩石の種類

